

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1  
電話：03-3541-5151  
聖路加国際病院 女性総合診療部 秋谷 文

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 女性総合診療部 秋谷 文

### **【研究代表者】**

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981  
電話：049-228-3681  
埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授 高井 泰

# 思春期・若年がん患者等を対象とした日本がん・生殖医療登録システムによる治療成績解析に関する研究

## 1.研究の対象

2001年1月1日から2026年3月31日までに当院女性総合診療部にて妊孕性温存治療（にんようせいおんぞんちりょう：未受精卵子・受精卵・卵巣組織・精子・精巣組織の凍結保存を指します）のためカウンセリングを受けた方、または妊孕性温存治療を行った方

## 2.研究の目的・方法

治療のために妊孕性（にんようせい：精子、卵子など子どもを持つための細胞や機能）が損なわれる可能性があるがん患者さん等に対して、未受精卵子・受精卵・卵巣組織・精子・精巣組織の凍結保存などの妊孕性温存治療に関するカウンセリングや治療のための医療体制の実態を把握し、10-20年以上の長期間にわたってがんや妊娠の成績を追跡・解析し、医療体制や治療成績のさらなる向上に結びつくよう、患者さんのデータベースを作成していくことが目的です。このデータベース作成のために、日本がん・生殖医療学会が中心となり、全国の妊孕性温存実施施設などが協力して、データ集計することとなりました。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2026年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

生年月日（他のデータベースとのデータ連携に必要なため。氏名、住所、電話番号などは提供されません）、妊孕性温存の有無や内容、あなたの病気の状態、生殖機能（精子や月経の有無など）、子どもの有無や妊娠・出産経過など（登録時点やフォローアップ時点でのカルテ上の情報から参照いたします）

氏名、住所など個人を特定しうる情報は提供しません。なお、試料も提供しません。

## 4.外部への試料・情報の提供

データは施設固有のIDとパスワードで保護されたオンライン登録システム（日本がん・生殖医療登録システム）に入力し、この研究に参加している他の施設と情報を合わせて集計データを解析していきます。患者さんのデータは当院女性総合診療部にて生年月日を除く個人識別情報はすべて削除され（匿名化といいます）、個人を特定できない状態にしてオンライン入力します。患者さんが聖路加国際病院を受診している期間は、病気や生殖機能などの最新のデータを年1回更新します。データと研究対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## 5.研究組織

埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 教授 高井 泰 ほか

共同研究に参加する施設の名称を日本がん・生殖医療学会のホームページ（<http://www.j-sfp.org/about/registry.html>）に掲載しています。